

山形県立中央病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用、または、提供されることを希望されない場合は、下記の問合せ先にお問合せください。

研究課題名	切除可能胸部食道癌における全生存期間に対する無再発生存の代替可能性の検証及び全生存期間に対する病理学的奏功の代替可能性に関する新規統計学的手法の開発
該当者	2010年から2015年に食道癌で術前化学療法と手術を受けられた方
当院の研究責任者	外科 野村 尚
研究代表者	慶應義塾大学 一般・消化器外科 北川雄光
本研究の目的	食道癌の再発リスクは高く、より効果的な周術期補助治療(化学療法、放射線療法など)を探索するための臨床試験が必要とされています。ランダム化比較試験(研究の対象者を2つ以上のグループにランダムに分け、治療法などの効果を検証すること)の主要な評価項目として広く利用されている「全生存期間」は、結果が出るまでに長い期間を必要とすることが欠点です。新たな食道癌治療の臨床試験に必要な期間を短縮するためには、「全生存期間」に替わる評価項目を探索する必要がありますが、切除可能食道癌に関して、そのような研究はほとんど行われていません。 そのため、化学療法を行った後に手術を行った食道癌患者さんを対象として、「1全生存期間に代わる代替評価項目を探索すること」、「2病理学的奏功と全生存期間の関係を検討するための統計学的手法を開発すること」を計画しました。本研究の解析結
実施予定期間	2020年12月15日～2022年3月31日
研究の方法	この調査では、2010年1月1日～2015年12月31日までの間に、術前化学療法と手術を受けられた患者さんの診療記録から情報を収集して調査を行います。
研究に用いる試料・情報の種類	病気の進行度、治療内容(化学療法の内容、手術の方法など)、治療後の経過等
外部への試料・情報の提供・公表	データを研究代表者に提供します。その後、学会や論文として公表されます。
個人情報の取扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。
利益相反	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業はありません。
お問合せ先	外科 野村 尚 023-685-2626